

ボラまち

06



MAY 2021

中央区ボランティア・市民活動センターだより

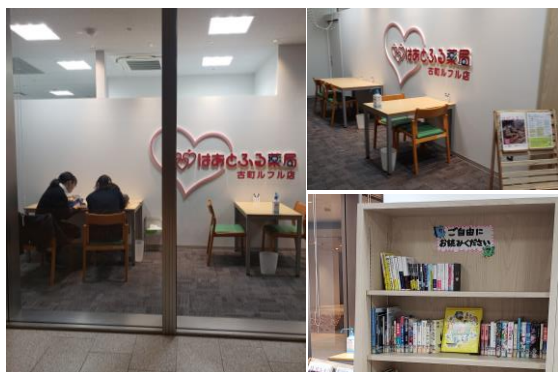
ジュニアワーキングスペース

— ワーキングスペースは大人だけのものじゃない —

古町ルフルの中であって、子どもがひとりでも安心して無料で利用できる居場所です。習い事の前の時間やお友達とおしゃべり、勉強スペースとしてご利用いただけます。

- 中学生向けプチ図書館
- フリーWi-Fi
- フリードリンク

はあとふる薬局 古町ルフル店
中央区古町7番町1010 古町ルフル2階
10:00~19:00 (月・木・祝日はお休み)



こどもの居場所OPEN



女池こどもしゃいん食堂

— 主催：ツクイ新潟女池 —

みんなでごはん、笑顔いっぱい！「女池こどもしゃいん食堂」は、子どもひとりでも大丈夫♪ひとりぼっちの食事を少しでも減らし、あたたかいごはんを食べることのできる地域の居場所をめざしています。7月(予定)からは、一緒に食事を食べられるよう準備中です。

- 日時 5月29日(土) 11:00~12:00
- 場所 ツクイ女池デイサービスセンター (中央区鳥屋野南3-2-6)
- 内容 食材配布 ※無くなり次第終了
- 参加費 こども無料



▶4/24(土)のプレオープンは、お天気にも恵まれ約70名もの地域の方が訪れるにぎやかな初回となりました。



ひとり親家庭支援事業

一般財団法人新潟市母子福祉連合会では、フードバンクにいがた協賛のもと、会員のひとり親家庭を対象としたフードパントリーを実施しています。この取り組みを通して、企業や個人のみならずから寄せられたたくさんの食材や日用品が、ひとつひとつ大切に会員さんに手渡されます。

母子連のフードパントリーは、会場設営や荷物の運び込みなど、運営にも会員が携わります。大人も子どもも声をかけあい、みんなでこの場を作り上げていく様子が印象的でした。取り組みを支援する企業や物品を寄付する個人の方、当日の運営を手伝うボランティアなど、それぞれのできることが集まってひとつの大きな支援となっています。



みほ 身歩's アカデミー 秘密の隠れテク



性別も年齢も関係ない！誰でも印象がアップする身だしなみのポイントをご紹介します。

【協力】出張メイク身歩さん



Vol1. マスク焼け対策と美肌のポイント — 春の美肌にはUV対策 —

思うように外出ができないときは、少しの外出の時間がとても貴重ですね。

太陽のパワーをもらって、少しの時間でも体も心もリフレッシュされます。

でもマスクをして外出する時は「うっかり日焼け」にご注意を。マスクは、実は「隠れ日焼け」の原因なのです。

多くの方が、「マスクによって日焼け対策ができています」と勘違いしがちですが、マスクは紫外線を透過するため、気づかない間に日焼けをしてしまいます。

マスクの下にも日焼け止めを塗って、しっかり紫外線対策をしましょう。

せっかくの楽しいおでかけ、お家に帰って顔の上下で肌の色が違うなんてさげたいものです。



ボランティア募集

総合福祉施設かりん

デイサービス、ショートステイ、グループホーム、介護支援センターを展開する施設です。

■活動内容

- ・お話しボランティア
- ・ごはん作り
- ・洗濯ものたたみ
- ・囲碁、将棋
- ・洗髪後のドライヤーかけ など

■申し込み・問合せ先

総合福祉施設かりん 中央区南笹口 1-1-30
TEL: 025-240-1162

喫茶 “Cafe 温”

地域活動支援センター焙煎コーヒー温が運営する喫茶です。

■活動内容

利用者と会話しコミュニケーション訓練のお手伝い、お皿洗い・配膳補助のお手伝い

■活動日時

火～土 11:00～16:00 のうち2時間程度

■申し込み・問合せ先

焙煎コーヒー温

中央区下大川前通 4 ノ町 2230 エスカイア大川前プラザ 105
TEL: 025-224-1853 担当: 小林様

★愛をこめたヒーローが、
★トキを越えてやってくる★
★ガッターを呼んでみよう！

柿の種そっくりの武器を使って、米を食い荒らす悪の軍団と戦う新潟のご当地ヒーロー、超耕 21 ガッターを知っていますか？
今ならガッターが施設やイベント、地域の茶の間、子育てサロンに来てくれます！お問い合わせは中央区ボランティア・市民活動センターまで



避難から10年 新潟で暮らすということ

東日本大震災から10年が経ちました。福島第一原子力発電所事故の影響で、被災地から新潟へ避難した方の中には、現在もなお新潟での生活を続けている方がいます。一時的な避難のつもりが子どもの安全を考え新潟で暮らし続けることを決めた方も多くいます。

NPO法人スマイルサポート新潟は「スマイルカフェ」という交流スペースを開設し、避難者等、様々な方の生活の相談に乗っています。場所は新潟市北区の住宅街にある一軒家。中に入るとこたつに縁側、まるで実家に帰ってきたような気分になる空間です。時にはご近所の方から野菜の差し入れをいただくこともあるとのこと。



スマイルカフェでは様々な体験やイベントを行っています。フラワーアレンジメントやレジンアクセサリー、

アイディア盛りだくさんの作品を作ることができます。「この場所にいる間は楽しく心地よく過ごしてほしい。」代表の根本さんらのご自身達も避難者という立場から、同じく新潟に避難してきた方をはじめ、困りごとを抱えた方々のため日々活動を行っています。



「10年前に新潟に避難した際、避難先の体育館に毎日ボランティアの方がいてくれたのが非常に心強かった。新潟への恩返しという気持ちも込めて活動している。現在は新型コロナウイルスの影響から新たな不安や困りごとを抱えている方が多くなっている。継続的な支援の必要性を強く感じる。」

中央区ボランティア・市民活動センター

〒951-8062

新潟市西堀前通 6 番町 909 CO-C.G.ビル 3 階

TEL: 025-210-8730 FAX: 025-210-8722

Mail: va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

※お車でのお越しの際は、市営西堀地下駐車場をご利用ください。駐車券をお渡しします。

開所時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15 (土・日・祝、年末年始を除く)



編集後記

髪色の大胆なイメチェンは抵抗があるといって、髪の一部の色を変えることを最近「インナーカラー」と言うそうで、「メッシュ」と表現していたことを知る世代の私は、情報発信を受取る「アンテナ」を高くしないとなあと思っています。「アンテナ」という表現を染めるなら「セピアカラー」が合います。
えのきだけ